

2025 年 10 月 27 日

企画展関連展示

北島敬三写真展 借りた場所、借りた時間 関連展示：

**岸幸太「彼の地、飛地」／笹岡啓子「The World After」
「Park City」／篠田優「Voice(s)」**

2025 年 11 月 29 日（土）－ 2026 年 1 月 18 日（日）

長野県立美術館 1 階 交流スペース・オープンギャラリー

—「photographers' gallery」を拠点に活躍する写真家 3 名による
関連グループ展



岸幸太、シリーズ「傷、見た目」より、2020 年
Courtesy of the artist ©KOTA KISHI



笹岡啓子、シリーズ「PARK CITY」より、2015 年
Courtesy of the artist ©KEIKO SASAOKA



篠田優、シリーズ「Voice(s)」より、2017 年
Courtesy of the artist ©YU SHINODA

長野県立美術館では、企画展「北島敬三写真展 借りた場所、借りた時間」の関連展示として、岸幸太、笹岡啓子、篠田優の 3 名の写真家によるグループ展を開催します。

2001 年に北島敬三らによって立ち上げられた「photographers' gallery」。ギャラリーとしての展示機能に加え、機関誌や写真集の刊行、レクチャーの企画などの、写真メディアに対する批評精神に根差した幅広い取り組みの拠点として多様な写真表現の揺籃の場となっています。

本展では同ギャラリーの現メンバーである岸幸太、笹岡啓子、篠田優の 3 名の写真家の作品を通じて、70 年代後半以降の自主運営ギャラリーの系譜に連なりながらも、なお特異な発信を続ける「photographers' gallery」の現在をご紹介します。

▶見どころ

- (1) photographers' gallery を拠点に、近年、国内外での評価を高める、岸幸太、笹岡啓子、篠田優による「北島敬三写真展 借りた場所、借りた時間」関連グループ展。
- (2) 岸幸太による、東京の山谷、横浜の寿町、大阪の釜ヶ崎に暮らす人々の姿を写した〈傷、見た目〉、そして川崎や名古屋、大阪、広島、那覇、釜山などにまで撮影地を広げ、街と人の姿を記録するシリーズ〈連荘〉の二つの連作で構成される〈彼の地、飛地〉を出品。
- (3) 笹岡啓子による、劇場性を慎重に回避しながら東日本大震災以降の被災地域を記録した〈The World After〉、ならびに出身地・広島の過去の凄烈と現在の静穏のコントラストを公園の中での出来事に見出す〈Park City〉の二つの連作を出品。
- (4) 長野県出身の篠田優が解体直前の旧・信濃美術館に取材したシリーズ〈Voice(s)〉を、信濃美術館クロージング展以来 8 年ぶりに当館で展示。

▶出品作家

岸 幸太 KISHI Kota

写真家。1978 年千葉県生まれ。2003 年東京ビジュアルアーツ写真学科卒業。2003 年より photographers' gallery に参加。多くの活動に携わるなか、『photographers' gallery press no.14』(2019) では編集責任を務める。個展、グループ展多数。主な写真集に『welcome』(photographers' gallery、2004)、『ガラクタと写真』(私家版、2014)、『Baseball』(私家版、2014)、『GAREKI Heart Mother』(私家版、2016)、『傷、見た目』(写真公園林、2021)、『連荘』(KULA、2021~)。「VOCA 展 2015」奨励賞、さがみはら写真新人奨励賞(2022)を受賞。



岸幸太、シリーズ「連荘」より、2023 年
Courtesy of the artist ©KOTA KISHI

笹岡 啓子 SASAOKA Keiko

写真家。1978 年広島市生まれ。2002 年東京造形大学卒業。2001 年より photographers' gallery の創設メンバーとして多岐にわたる活動に携わる。主な写真集に、生まれ育った広島を「内」と「外」の視点から捉えた『PARK CITY』(インスクリプト、2009)、震災後の東北の地を継続して捉えた『Remembrance 三陸、福島 2011-2014』(写真公園林、2021)、日本各地の海岸線や稜線を写した『Shoreline』1-45 (KULA、2015-2023)。日本写真協会賞新人賞(2010)、林忠彦賞(2014)、東川新人作家賞(2022)等受賞。



笹岡啓子、シリーズ「The World After」より、2021 年
Courtesy of the artist ©KEIKO SASAOKA

篠田 優 SHINODA Yu

写真家・映像作家。1986 年長野県生まれ。2021 年明治大学大学院修了。2023 年より photographers' gallery に参加。主な展示歴に「Long long, ago」(photographers' gallery、2023)、「Garden | Medium」(Alt_Medium、2025)、「Fragments of the place 2017-2019」(長野県伊那文化会館、2025)。主な写真集に『Medium』(塩竈フォトフェスティバル、2015)、『二つの半島に関するメモランダム (2015-2020)』(sign and room、2020)、『Fragments of the place 2017-2019』(喫水線、2024)。塩竈フォトフェスティバル写真賞大賞 (2013) 等受賞。



篠田優、シリーズ「Voice(s)」より、2017 年
Courtesy of the artist ©YU SHINODA

【開催概要】

展覧会名：北島敬三写真展 借りた場所、借りた時間 関連展示：

岸幸太「彼の地、飛地」／笹岡啓子「The World After」「Park City」／篠田優「Voice(s)」

会 期：2025 年 11 月 29 日（土）－ 2026 年 1 月 18 日（日）

会 場：長野県立美術館 1 階交流スペース・オープンギャラリー

開館時間：9:00－17:00（展示室入場は 16：30 まで）

休 館 日：毎週水曜日、年末年始（12/28-1/3）

主 催：長野県、長野県立美術館

特別協力：photographers' gallery

観 覧 料：無料

■報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室 〒380-0801 長野市箱清水 1-4-4（善光寺東隣）

TEL：026-232-0052 FAX：026-232-0050 E-mail：nam-pr@naganobunka.or.jp